

放課後の学習や体験活動の機 会の充実

放課後の子どもたちの主体的な学習を支援するため、始業前や放課後等の時間を活用し、学ぶ機会を充実させる取組が進んでいます。この時間では、子どもたちが授業で理解できなかったところの復習や主体的に調べる学習などを支援したり、学習の方法をアドバイスするなどの支援が行われています。

あさくら

高知県高知市立朝倉第二小学校では、月・火・木曜の放課後に30分程度、「わくわくタイム」を設けています。この時間には「その日の授業でわからなかったところを復習したり、得意な面を伸ばす自学自習の時間になって欲しい」、「質問しやすい雰囲気を作りたい、わからない点をそのままにしない雰囲気を作っていきたい」という先生の希望が込められています。

子どもたちの参加は自由で、自分の学習が終われば帰ります。また、学習の内容も子どもに任せられており、宿題に取り組む子どもや、自宅からドリルを持ってきて取り組む子どももいます。



「わくわくタイム」を実施している教室には、常に3人以上の先生がかかわってきめ細かく指導を行っていることもあり、子どもたちからは「先生が近くにいるのでわからないときに声をかけやすい」と好評です。

おかや

また、長野県岡谷市立岡谷小学校では、「学習相談室」を設け、放課後や休憩時間に、クラブ活動や児童会活動を担当していない先生たちが子どもたちからの学習に関する相談を受けています。

学習相談室では、子どもたちがパソコンソフトや自分に合ったミニプリントを使って学習したり、パターンブロックなどの教具を使って楽しみながら学習したりしています。日ごろの学習でわかりにくかったところを個別に見てもらったり、子どもたち同士で学びあう姿も見られ、時間を見つけては毎日のように通う子どもたちもいます。

また、放課後における、子どもたちの様々な体験の機会の充実を図るため、地域の人々と連携して体験活動を行う取組も進んでいます。

名古屋市では、市内の小学校103校で、月曜日から金曜日の放課後にトワイライトスクール(放課後学級)を開校しています。

トワイライトスクールは、教職経験を持つ指導者を中心に、地域のボランティアの協力によって運営されています。

「トワイライトスクール」

子どもたちが、小学校の施設などを利用し、異なる学年の子どもとの体験活動や遊び、世代の違う地域の人々との交流などを通して、「生きる力」をはぐくむことを目的としています。

地域行事への参加や集団での遊びのほか、お手玉などの伝承遊びやものづくりなどの「体験活動」、学校での学習内容の復習や読書などの「自主的学習」、科学工作や調べものなどの「学び合い活動」など、子どもたちが主体的に活動しています。



子どもたちからは、「いろいろな体験が出来て楽しい」、「たくさんの友達と遊んだりできる」という声が多く、子どもたちはいきいきと活動しています。



手作り百人一首大会の様子